

第1回定例会市議会で可決承認された、当初予算は下表のとおり

会計名	令和2年度	令和元年度	伸び率
一般会計	442億6,145万円	405億4,478万円	9.2%
特別会計			
国民健康保険特別会計	128億2,144万円	130億6,482万円	-1.9%
と畜場特別会計	6,108万円	5,994万円	1.9%
財産区特別会計	16億1,704万円	16億2,628万円	-0.6%
介護保険特別会計	120億7,027万円	113億2,941万円	6.5%
土地取得特別会計	8億1,251万円	8億6,235万円	-5.8%
後期高齢者医療特別会計	18億6,478万円	17億6,149万円	5.9%
水道事業会計	43億818万円	37億4,395万円	15.1%
下水道事業会計	70億7,562万円	69億5,772万円	1.7%
総額	848億9,235万円	799億5,073万円	6.2%

一般会計…福祉、教育、道路・公園整備などの一般的な事業を実施するための予算で、羽曳野市の事業の大部分を占めています。
特別会計…一般会計とは区別し、特定の事業ごとに経理する予算で、羽曳野市には6つの特別会計があります。

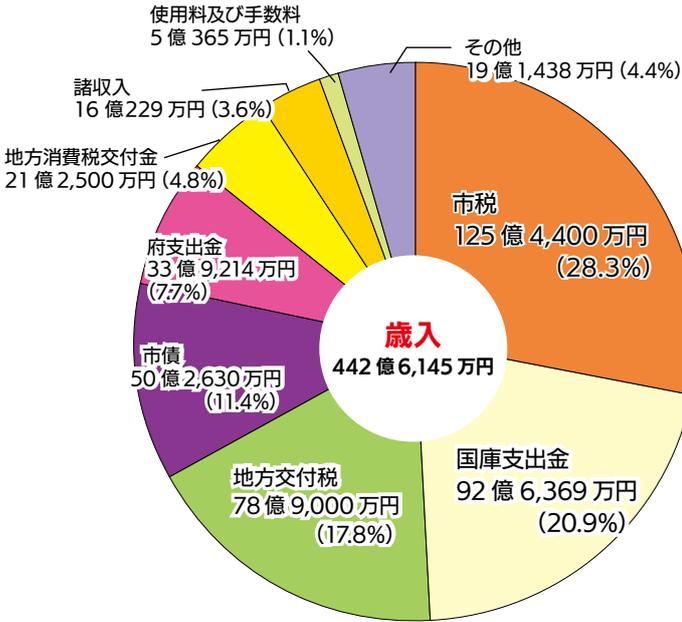
令和2年度 予算

「魅力・安心・未来」3つの視点で将来を見据えた施策を

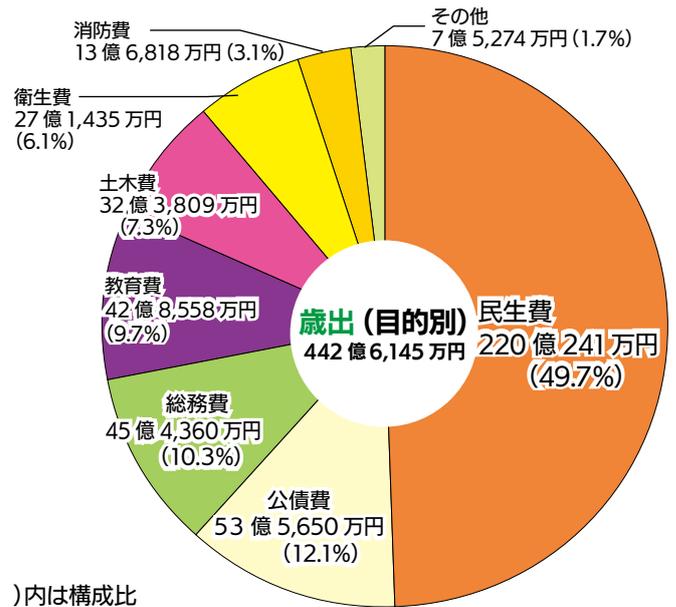
令和2年度の予算については、「世界遺産と日本遺産のあるまち」という本市の個性を新たな「魅力」として発信、介護の予防と健康寿命の延伸、公共施設における防災機能の充実など市民の暮らしの「安心」につながるまちづくり、公立認定こども園の整備や、学校ICT環境の整備など「未来」を担う子どもたちの教育・保育環境の充実などに重点をおいた予算編成としています。

【総額】848億9,235万円

【一般会計】442億6,145万円



一般会計歳入の内訳



※()内は構成比

一般会計歳出の内訳

主なハード事業

- 歴史的建造物を活用した拠点整備と羽曳野版DMOの設立…6億578万円
白鳥陵古墳と竹内街道に隣接している「浅野家住宅(旧オキナ酒造場)」の改修を行い、観光・産業・交流の拠点として再生します。あわせて、多様な事業者と参画・連携を進め施設運営主体となる羽曳野版DMOを設立し、地方創生へと繋がる基礎戦略や経営計画等、運営の基盤をつくります。
- (仮称)西部こども未来館の整備と3歳児保育の実施…3億4,360万円
2カ所目の公立幼保連携型認定こども園「(仮称)西部こども未来館」の整備を推進します。また、公立幼稚園の3歳児保育について、今年度から「羽曳が丘幼稚園」と「高鷲南幼稚園」でも開始します。
- (仮称)タカキタフラワーガーデン整備事業…1億7,416万円
高鷲北幼稚園跡地について、防災機能を備えた、花や緑に触れながら多世代が憩える交流空間として整備します。
- 恵我ノ荘駅周辺整備事業…6億7,680万円
恵我ノ荘駅周辺の安全性確保と利便性向上のため、引き続き都市計画道路恵我之荘駅前南側線の歩道整備を大阪府と共同で進めます。また、地域の防災力を高めるため、市道恵我之荘69号線および防災設備を備えた広場の整備を推進します。
- GIGAスクール構想整備事業…4億1,942万円
国の補助制度を活用した高速大容量の校内通信ネットワークの整備と児童・生徒一人一台の端末導入により、充実した学校ICT環境の構築に取り組みます。

主なソフト事業

- 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」環境整備事業および古墳保存整備事業…7,489万円
世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の外国人を含む来訪者のための環境整備事業として、展示説明板設置・多言語化、外国人用パンフレット作製などを行います。また、古市古墳群構成資産の保存と継承を図るため、応神天皇陵古墳外濠外堤の一部公有化や峯ヶ塚古墳の発掘調査等を行います。
- LICウェルネスゾーンおよびびきのウェルネス事業の展開…3,828万円
健康づくり介護予防拠点として、高齢者や中年層を対象に、油圧式運動機器等を用いたプログラムを継続実施します。また、地域ニーズに応じた健康づくり・介護予防活動の担い手となる介護予防リーダーを養成し、地域における活躍の場を提供します。
- 成人歯科健診事業…1,076万円
成人歯科健診の対象年齢について、歯科医師会の協力を得て、新たに20歳、25歳を追加し、より若い世代からの口と歯の健康管理の促進と意識啓発を図ります。
- 猛暑対策事業…2,115万円
古市駅西駐車場、高鷲駅北側ロータリーおよび上ノ太子駅南側ロータリーにおいて、猛暑時にバス等の利用者をおもてなしするため、緑化やミスト設置などの整備によって、涼しさを感じる空間の形成に取り組みます。